

地域	東京都 中央区	認定日	平成23年10月14日	通巻番号	3 - 23 - 105
----	---------	-----	-------------	------	--------------

④新規用途開拓による地域農林水産物の需要拡大、ブランド向上

丸ごと桑と月見草をブレンド加工した高機能食品の開発・販売と永源寺地域農業の活性化

桑の葉だけでなく枝や樹皮など収穫伐採部位をまるごと使い、月見草を加えた高機能食品の開発と販売を行う。

連携体

農林漁業者 (有)永源寺マルベリー (農業)

古くから文献等で有名な永源寺地区の桑栽培を再活性化するとともに、月見草の栽培もおこなう。また、乾燥までの工程を担うことで本商品に適した品質の原材料を安定的に供給する。

中小企業者 (株)アンプリー (化学工業)

桑をまるごと活用した高機能食品を開発し、通信販売事業者にOEM供給して中高年齢層へ販売を行う。

連携参加者

滋賀県農業技術振興センター、学校法人武庫川女子大学、吉澤菜園、(有)あいの土山(以上、農業)、(株)セイシン企業、王子食品(株)(以上、食料品製造業)

顆粒化・包装の技術提供、殺菌・粉末化の技術提供、乾燥技術の提供、技術指導および実験を行う。

サポート機関等

東京東信用金庫、(独)中小企業基盤整備機構関東支部

連携の経緯

(株)アンプリーが生活習慣病に対する消費者ニーズを具体的商品にするために、桑の農業者を探すことから始まった。(有)永源寺マルベリーとは、同社京都研究所に近く連携しやすいこと、新たに月見草の栽培や収穫後の乾燥加工への取り組みなどを含めて地域全体の協力体制が得られること、古くから文献等で桑の産地として有名でブランド化しやすいことなどを背景に、新しい事業に対する両者の意向が合致し連携に至った。

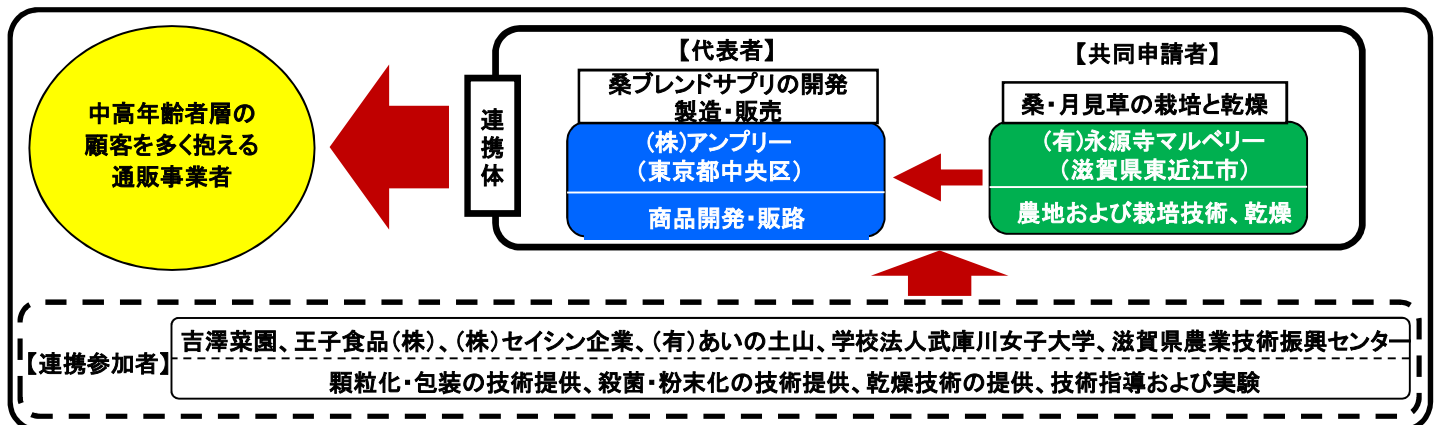


←桑畑

月見草の試験栽培
↓

連携に当たっての課題や工夫等

(株)アンプリーでは桑葉に加えて、桑の枝(レスベラトロール)、月見草(ガンマリノリン酸)の成分をバランスよく配合し、かつイオン化デキストリン技術を使い吸収しやすさを追求し、従来の桑葉商品との差別化を図り商品性を高める。(有)永源寺マルベリーでは、桑の枝まで使うこと、発酵しやすい桑葉を収穫後すぐに乾燥することなどに取り組み、品質の高い原材料の安定的供給を行う。また栽培技術を確立し面積を順次拡大していくことで、耕作放棄地の有効活用を図る。



連携による効果

農林漁業者 3年で1,000万円の売上高増加、耕作放棄地の有効利用、永源寺ブランドの確立

農地の活用以外にも、乾燥工程の内製化により農業経営の安定、永源寺ブランドの確立にも貢献すると期待される。

中小企業者 3年で4,100万円の売上高増加、収益性の改善

桑をまるごと活用した高機能性食品をOEM供給することにより、売上の増加と収益性の改善が期待される。

代表企業等の連絡先

企業等名：株式会社アンプリー
TEL：03-3567-8666
E-mail：kitamura@amply.co.jp

所在地：東京都中央区銀座4-8-12
FAX：03-3567-6668
ホームページ：http://www.amply.co.jp/